

信用格付を付与するために用いる方法の概要（ソブリン）

ソブリンのリスク分析は、支払の能力と意思についての定量的、定性的判断を統合したものである。フィッチのソブリン格付分析は、対象ソブリンの財務力のみならず、さまざまな要因を含んでいる。なぜならば、国の経済に対する政府と公的部門全体の重要性が極めて大きいため、ソブリンの活動及び政策措置と経済全体のパフォーマンスが互いに大きく影響しあっているためである。フィッチによるソブリンの信用及び格付分析では、以下の要因を重視している。

- マクロ経済の実績と見通し
- 「ショック」に対する脆弱性を左右する経済の構造的特性。これにはマクロ経済の安定性と財政に対して金融セクターがもたらすリスクのほか、「政治リスク」及びガバナンスに関わる要因が含まれる。
- 財政。これには公的債務の構造及び持続可能性並びに政策金融が含まれる。
- 対外資金調達。特に貿易収支、経常収支及び資本収支の安定性並びに対外債務（公的、民間）の水準と構造に着目する。

本格付方法の詳細については、「[Sovereign Rating Methodology](#)」（2011年8月15日付格付基準レポート）をご覧ください。